

転倒予防川柳 2017 入選作品



大賞

離さない 昔は君で 今は杖 (愛知県 井深 靖久)

(大賞選評) 「死ぬまで君を離さないぞ」と、語ったかつての流行歌があった。青春期の恋情を純粹に表現したものだ。時は過ぎゆき、「年々歳々花相似たり歳々年々人同じからずや」とばかり、誰しも歳を重ね、還暦、古希、喜寿の年代を過ぎ、傘寿、米寿、卒寿を迎えるようになると、「老化は脚から」を否がおうでも知るようになる。転倒・転落のリスクが高くなり、杖に頼るようになり、歩行には欠かせない存在となる。人生の心模様と体の変化をうまく調和させた秀作。

佳作

滑りどめ つけて今度は つまずいて (福岡県 成田 のり子)
こけるのは いつも父さん 美女のそば (北海道 清水 利章)
「ぬかづけ」を 守って元気に 糠漬ける (鹿児島県 牧瀬 隆)

「日本転倒予防学会」発足から四年目を迎えました。引き続き「転倒予防川柳」の公募を行っています。全国から一六四二作品の応募がありました。日本転倒予防学会の担当役員が選考にあたり、大賞一作品、佳作三作品が決定いたしました。入選作品および入選された方は次の通りです。(順不同・敬称略)